

## 特別支援学級 音楽科学習指導案

令和元年7月3日（水曜日）第2時限（さざんか2組）

指導者（T1）平賀 真司

（T2）長谷川 義弘

1 単元 リズムとなかよし

2 指導計画（8時間完了）5／8

時数	1	2	3	4	5	6	7	8
以下の学習内容を、1チャック10分程度、1パート5分程度に組み合わせて行う（1時間4チャックまで）								
チャックの内容	速度に合わせた表現	楽曲の気分をとらえた表現	楽曲の気分に合わせて表現	拍の流れやフレーズに気を付けた表現	「たん」と「うん」によるリズム表現と、4拍のリズムづくり	反復するリズム感を感じ取った表現	楽曲に合った表現の工夫	楽曲の気分にあった表現の工夫

3 本時の指導

- (1) 目標 呼びかけとこたえ、速度、拍、反復、音色、リズムを感じ取る
- (2) 準備 CD、音楽デッキ、投影機、プロジェクター、棒二本、棒の台座二個
- (3) 本研究との関わり

本学級の児童は音楽がすきで、音楽が流れると自然に体が動き、楽しんでいる様子が見られる。A児は、音楽が流れると体を速く動かすが、自分にとって気持ちがいいリズムで体を動かしているだけで、音楽を形づくっている要素を感じ取っているとは言えない。

本時では、音楽を聴いて身体表現をすることによって、速度、拍、反復を感じ取ることができるようにする。また、ゲームや歌を通して、自然に呼びかけとこたえができるようにする。

(4) 指導過程

時間配分	学習活動	指導上の留意点

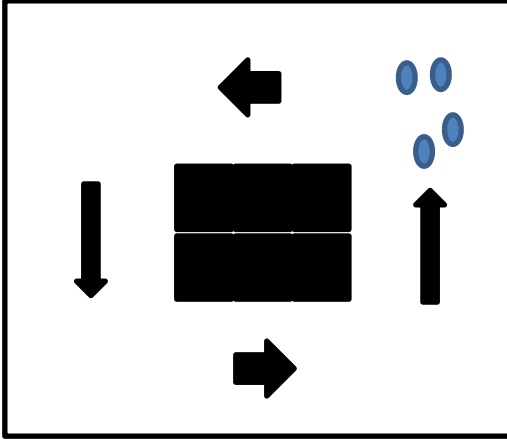
3分	1 本時の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習内容を児童に伝える。</li> <li>○ 4つのチャンクに分ける。</li> <li>○ 一つ一つ伝えながら板書し、色分けして囲む。</li> </ul>
7分	2 きよくにあわせてからだをうごかそう (速度) (音色)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現在の内容をプロジェクターで映す</li> <li>○ 速度を比較する3曲を伝える。 (つるぎのまい サンダーバード ユモレスク)</li> <li>○ 曲に合わせて体を動かす。</li> <li>○ ユモレスクはバイオリンの絵を掲示し、楽器の種類を示す。</li> </ul>
12分	3 リズム ・幸せなら手をたたこう	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 速い、普通、ゆっくりを意思表示する。</li> <li>○ もう一度、曲に合わせて体を動かし、確認する。</li> <li>○ 範唱を聴く</li> <li>○ 座ったまま、曲の合いの手の部分で手をたたく</li> <li>○ 曲に合わせて動き、合いの手の部分で手をたたく。</li> <li>○ 曲に合わせてスキップし、合いの手の部分で手をたたく。</li> <li>○ 曲に合わせてスキップし、合いの手の部分で友達と手をたたく。</li> <li>○ 曲に合わせてスキップし、合いの手の部分で友達と手をたたく。</li> </ul>
3分	・おどるこねこ (反復)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 曲に合わせてスキップし、合いの手の部分で友達と手をたたき、手をたたいた友達とペアになる。ペアになった友達と手をつないでスキップし、次の合いの手で、別のグループと手をたたき、全員と手をつなぐ。</li> </ul>
15分	4 呼びかけとこたえ ・かくれんぼ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全員手をつないだら輪になり、最後まで通す。</li> <li>○ ユモレスクの旋律のリズムに合わせてスキップする。</li> <li>○ はじめ、なか、はじめ、おわり動きを考える。はじめの部分は同じ動きをすることを伝える。</li> </ul>
5分	・貨物列車 ・汽車は走る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一曲を通して、曲に合わせて体を動かす</li> <li>○ 呼びかけをリコーダーであることを伝える。</li> </ul>
	5 ティニックリング (拍)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ シ・ラ・ソの音に限定して呼びかけの旋律を作る</li> <li>○ かくれんぼをする。</li> <li>○ はじめの一人を決めじゃんけんして列車を作る</li> <li>○ 「汽車は走る」を、列車を作りながら、先頭の人が呼びかけ、それ以外が答えで歌う。</li> <li>○ ティニックリングの棒を二本音楽に合わせて動かし、棒の間にある足形を踏みながら、棒に触らないように音楽に合わせて歩く。</li> <li>○ 棒を動かしたい児童がいた場合、実態に合わせて行う。</li> <li>○ 慣れてきたら、棒が動いているとき、棒に触らなければ何度踏んでもよいことにする。</li> </ul>

※T2は、一人で行うことが難しい児童の支援をする

<場の設定>

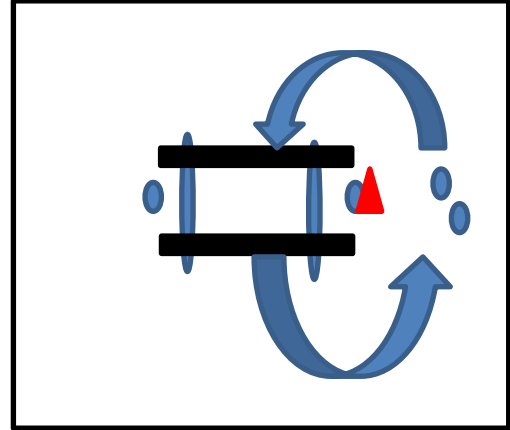
●・・・児童の位置      ▲・・・教師の位置

【曲に合わせて体を動かそう・おどるこねこ】



- ・一方通行にする
- ・友達の体を触らないように促す

【ティニックリング】



- ・一方通行にする
- ・友達の体を触らないように促す
- ・足形を踏んで通り抜ける

よびかけ	こたえ
シュツシュツ	ポッポ
シュツシュツ	ポッポ
シュツシュツ	ポッポ
シュツシュツ	ポッポ

<板書計画>

【汽車は走る】

- ・掲示物

【曲に合わせて体を動かそう】



ユモレスク

ノクターン第2番  
(前時に使用)